

17番 時吉茂治 議員

1 鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業の予算増額と空家対策について

- (1) 経済波及効果が13倍もある住宅リフォーム助成事業費が、令和元年度は3,718万円と平成27年度比で1,200万円余り削減され、改修応援（リフォーム）申込みに十分対応できていない。住宅建築は関連の事業者が多く波及効果が大きい。コロナ禍で本市の経済は大きく落ち込んでいる今こそ景気対策として予算増額をすべきと思うがどうか。
- (2) 経済波及効果が大きい住宅リフォーム事業費をなぜ削減したのか理由を示されたい。
- (3) 世代間で支え合いながら生活する三世帯同居加算の補助件数が少ない。これは、三世帯同居への住宅リフォームには多額の費用がかかる中、改修工事費に対する補助率、補助金額が少ないからだと思われる。補助率の引上げや補助金額の増額を行えば、三世帯同居加算改修リフォームの申込件数も増えると思われる。このことは空家の発生防止にも資すると思うがどうか。
- (4) 本市における空家状況を示されたい。
また、鹿屋市空家等の適正管理に関する条例第6条第1項は、「空家等が管理不全な状態になるおそれがある、又は管理不全な状態にあると認めるときは、当該所有者等に対し、必要な措置について助言又は指導を行うことができる」としているが、どのような内容か。
- (5) 行政全般に言えることだが、空家対策は安全安心課、住宅リフォームは建築住宅課と、縦割りではなく横との連携をとれば効率的な税金の使い方ができると思うがどうか。